

事務局長の発声で全員起立、物故会員への黙禱を捧げ、会長挨拶は松下会長所用の為退席されたので、長坂好忠副会長がこれにかかり、日程延期の説明を言い、体育館完成、六十年に完成する校舎等母校環境整備一般がスムーズに遂行されつつあるは、ひとえに松下選舉会長が時の人たる所以であると述べ謝意を表する。

昭和59年度 定期総会開催される

職員十九名と共に母校愛に燃え全職員一致団結協力しあつて運営に当つていると力強く語られ所感として生徒の小粒、多様化を述べ、これが対応に熱っぽく決意を示す。概況説明の中で男子生徒七十五名、女子三九八名と女子生徒がその三分の一を占めるを聞き正に時流

A会長の謝意等を伝える
議事進行は長坂副会長がつとめられ、会務報告
昭和五十八年度一般会計
収支決算書、五十九年度一般会計収支予算案等す
べて、会場より声ありて
幹事、評議員会議決容認
するとして、質科目通し
にて終了。

(6) 佐々木幸平 (7) 中島清 (8) 松沢光彦
 (9) 関川明文 (10) 藤本忠彦 (11) 塚田紀昭
 12) 以上の諸氏である。
 佐々木浩平君 (高7) 是声で校歌合唱。万才三郎君
 は大きなお声で宇野勝也先生 (中24)、横田盛広先生
 会長の閉会の辞で終了。
 十分休憩の後、理賛社
 上長山村光司氏 (高3) が

「菊作り菊見る時は隣の日本人」とあります。出版は本当に文化の配達人でもあります。出版は本来文化的意味合いがあればよいわけですが、産業的に言えば会社として成立している事がよい本を出版できる条件となります。この点で横田副会長さんは「事業とは何か」全く

うです。



講師紹介

講演会終了後の懇親会は、今をときめく耐ハイの用意があり、校内幹事先生方の温かい心が伝わる。ヤングの参加が毎回言われる。

十分体験の後、理論社
社長山村光司氏（高3）
の記念講演は「出版とい
うメディアの中で『子ど
もの本と子ども観』」を
聽く。

(8) 中島清 (9) 関川明文 (10) 松沢光彦
 (11) 藤本忠彦 (12) 塚田紀昭 (13) 佐々木浩平君 (高7) 発声で校歌齊唱。万才三唱は大きなお声で宇野勝房先生(中24)、横田盛広副先生の声も混じてた。

第24号
発行人
長野県飯田高等学校同窓会
松下逸郎
編集発行人
馬場一郎
印刷所
飯田共同印刷(株)

昭和五十九年度同人会定期総会
記念講演「出版というメディア

ノイアの中で——子どもの本と子
理論社社長 山 村 光 司（高3回）

性格を作りあげているのだ」と。こうした事を背景にして信州出版人が出来上がっていると思いま

点で約四千社、皆さんで
目に触るのはそのうち
二百社です。この中には
共の出している児童書
があります。最近の活字
の傾向の中でこの児

況にあることは悲しむべきことです。また青少年向けの有害図書が巷間に溢れ、主婦向けの雑誌の中にも目を覆うものもあり、恐ろしいことだと言わざるを得ません。

△子供の本心に目を向け

△子供にとって最も幸わ
る▽

△にあるのか、目に見える時、どんな子供にもキラキラ光る才能が見えて参ります。

△本を読み聞かせる▽
(ここで数冊の本と内容の紹介があり、会場が笑みで包まれました) これらの本が子供にとって、如何に大切であるか、と

ードを寄せてきた都中の一年生の文の紹介がありました) △最後に▽ 最後にお頼いが二つあります。この地出島で私共の大先輩で原稿十先生という方が死んでいます。(阿島の出島で現在、鹿児島に住んでおられ、大変な業績をお残しておられます。先生は「母と子の二十分間読書運動」というの

を展開されました。これは母と子が二十分間で本を読み、感想を話す
あうというもので、全国に広がり大きな成果を収めております。

事務局長の発声で全員起立、物故会員への黙禱を捧げ、会長挨拶は松下会長所用の為退席されたので、長坂好忠副会長がこれにかかり、日程延期の説明を言い、体育館完成、六十一年に完成する校舎等母校環境整備全般がスムースに遂行されつつあるは、ひとえに松下逸雄会長が時の人たる所以であると述べ謝意を表する。

の変遷を感じた。

六十年発行の会員名簿の件に関して羽生事務局長より説明あり、各回幹事、評議員の確認、欠員ある回へ補充の依頼、原稿は六十年四月末日〆切その配布を受けられる者は昭和五十九年度迄の会員費納入者に限ると強調。その他体育館へがらしの実行委員十名が次の通り長坂副会長より推薦報告、会員之を認める。すべて高卒である。横田盛広（3）平沢秀明（4）伊藤一男（5）鈴木基忠

市出身。高校第三回卒等。横浜市立大学に学び、教師生活を経験の後、株式会社理論社に入社。当時の社長小宮山重吉（上田市出身）と創作童文学運動に参加。現文部省の薩摩のバイオニアとなり、名作の数々を生み、出版部長を経て、四十年代後半、社長を歿き、多くのストセラーを登場させた。現在、日本書籍協会評員、科学万博つくば85年出版協賛会委員。現住所沢市緑町四一十六一四。

人の強い懼れの中に生きてきたように思います。朝日新聞の新人国記ので、信州人に何故学者出版人が多いのかといふに対し、塙沢実信氏次のように述べています。「出版活動のユニーク出版人としての個性のさがあり、これは他県より強いとされる郷土意識がある。しかし実際は関東奥地の疎うつ質がこの県特有の分質質が産の低い厳しい自然ので接触し、勝氣で合理な理想主義的で独善的

まり情報はテレビ文化に取って代わられてしまうのではないかと思うのです。活字離れが言われる中にあって、本当の出版が今日見直されなければならぬと考えております。出版界全体の年間の売り上げ高は一兆五千億円程度です。これは豊田自動車の約四分の一です。出版文化が皆さんの関心を引くのは、売り上げの規模ではなく、文化的影響力を作り上げていくという世界があるからだと思います。年間の出版件数は三万

して子供の本を作るた
ボルノ映画まがいの題
がつけられ、書名に迷
されて本を買うといふ
い傾向が出てきていま
読書の一一番大切なこと
作者と読者が一対一で
対峙できることにあり
す。この点テレビは心
交流がありません。本
読むことで思考が生ま
自己の自立的な精神活
ができます。その中で
子供の為に、子供が文
体験を得ていく為によ
本を与えるべきだな
い。出版社がそうした

は読書力が無いとよく言
われます。これは子供の
頃から読み聞かせの機会
を失った為に起る現象か
と思われます。今でも、
また大学へ入学してから
でも遅くありませんから
もう一度児童文学に戻
て、一冊でも多く感動す
る本にめぐり会うことが
大切かと思います。一度
めぐり会えば一生懸命
の人生を自立の人生とし
て暮らしげに歩んでい
ると確信致します。(こ
こで読書がこんなにも樂
しいものかという読書本
心が

長くなりましたが、谷先生の子供についての本の中の詩を読ん
終りにさせて頂きま
「チャーリングーム一つ」という題がついてお
ます。(詩は省略さ
て頂きました)

支部だより

■上郷

了しました。

(五十九年度)
盛夏八月十九日午後三時から、町民会館で支那学園都市にある気象研究所地盤火山研究部の田中康裕先生（中42）理学博士に無理をお願いして、

今回の総会講演は筑波

所で開催されました。

牧野康剛（高26）

■中京

昭和五十九年度の中京支部総会及び懇親会は二月二十五日（土）午後六時から名古屋郵便貯金会館で開催されました。今回

は母校より三浦宏校長を

お迎えし出席者九十一名

（昨年比三〇%増）と

盛大に行なうことができま

した。本会松下会長より

丁重なる祝電を、又静岡県選出の衆議院議員熊谷弘君（高11回）より激励の電報をいただきました。

本総会は本会

より外松副会長の出席を

いただきました。定期総会は

本校で、特筆すべき

役員に今まで一人もいな

いことです。

本総会終了後、来賓の外

は会員名簿の作成と、新

幹事が十一名も選出され

ました。定期総会は本会

より外松副会長の出席を

いただきました。定期総会

は会員三十一名の出

席を得て行なわれました。

江東区牡丹3-13-9

電64212131

宛

（事務局）

同窓会員お便り特集



童心にかえって高歌放吟する在京同窓生の面々

S28創立総会
昭和二十八年五月八日、虎の門共済会館にて創立総会が開かれた。最初のことであり、資料もままならず、情況把握が出来なかね、その折の人数は伺人位であったか確かな数は残されていないが、会場に収容しきれず、混乱をきたした点から、四百人前後集ったものと思われる。戦後何かと離れていた時でもあり、縦横のつながりを求めていた時に、会合の報に集い合わされた現れで、その後何回か開かれたが、あれだけの数が集つたことは記憶がない。

初代会長に前沢氏
初代会長に前沢重雄氏（中2回卒故）が就任、進決議がされた。「校名変更について」、「在京学

進足に当って三事業の推進決議がされた。「校名変更について」、「在京学

三十一年より四十年半ば迄は隔年か、三年に一度の同窓会であったが、この十年は毎年盛大な会を

交換と親睦に、効果を上

会員の縦横の連絡復活に作成も仲々困難であつては最も再建のせやすい信頼度が現在の姿に復活され、その存在は幾多後輩の社会への出発に支えとなつてゐる。名簿の

作成も仲々困難であつては最も再建のせやすい信頼度が現在の姿に復活され、その存在は幾多後輩の社会への出発に支えとなつてゐる。名簿の

会員の縦横の連絡復活に作成も仲々困難であつては最も再建のせやすい信頼度が現在の姿に復活され、その存在は幾多後輩の社会への出発に支えとなつてゐる。名簿の

会員の縦横の連絡復活に作成も仲々困難であつては最も再建のせやすい信頼度が現在の姿に復活され、その存在は幾多後輩の社会への出発に支えとなつてゐる。名簿の

会員の縦横の連絡復活に作成も仲々困難であつては最も再建のせやすい信頼度が現在の姿に復活され、その存在は幾多後輩の社会への出発に支えとなつてゐる。名簿の

30周年記念で更に結集誓う

在京同窓会に二百余人

こととなっている。
三千通の通知

毎回案内状は三〇〇〇通以上発送するが、未回答が一三〇〇通に上る。

経費の節約で二年に亘り返信の無い者は、案内選出してご苦労頗うことをし、「前沢重雄氏」、「伊那の谷が古風で大被害を受けた時、会員より淨財を仰ぎ母校に見舞金を贈つたこともあった。

広い包摵範囲

在京飯田高校同窓会の

会員包括範囲は、関東一

内、福島県、山梨県、静

岡県としている。この中

でも別に、神奈川県、常

盤沿線と同窓会を結成し

て、独自の会合を持つて

活動している処もあるが、

地域的には包括してい

ることとなる。

総会には、第一代（前記）、

第二代塙沢稔一氏（中一〇回卒故）第三代北原弘

男氏（中一四回卒故）現

在は第四代吉沢武男氏

（中二一回卒）である。

当初より、名幹事長原正

一氏の手腕・行動力に依

る。事務局長は小椋真夫

氏（高五回卒）から、昨

年八月に佐々木直氏（高

七回卒）に引き継がれて

現在に至っている。

毎年十一月開催

総会は開催日を一定の

日に定めておいた方がよ

かるうとの評議員会での

決定で、毎年十一月第二

金曜日とすることになっ

たので、会員はその日を

総会出席のため空けてお

いて貰うべく切望します。

盛大な記念式

昭和五十八年の総会は、

から満三十年になる。九

月二十七日に評議員会が

日本航空よりの取材要

請を兼ね六月十九日アテ

ネへ。六月二十二日ビレ

ウス港より船にて十二時

間、エーゲ海のサントリ

ー島へ向う。紀元前一

五〇〇年頃の大噴火によ

り中心部は完全に吹き飛

んでしまったこの島は、

海面より垂直に切り立つ

断崖上の白い街の感動

的な風景で、ギリシャ観

光の中でも圧巻と言わ

れる折、折りしも島は太陽

を求める北欧の男女の裸

で一杯。タコのオリーブ

焼は美味!

六月二十六日アテネよ

りテルアビブ空港へ出発

さよい、砂漠の道で轍

車に迷い、時折砲声を聞

きつつ、コーランの流れ

これで見納めとなると感

この辺に射場があつた

はずだと進むと、いたみ

のひい校舎の中に誰一

輪の如く手入れの入った

射場と弓道場がありホフ

トさせられたが、金網で

しに覆くと次の額が掛

ている。

実のある会報

（編集委員）

① 同窓会費を納入致しま

す。② 実のある同窓会報を常

に愛読しています。

③ 同窓会の益々の御発展

をお祈りしています。

（中29 古橋和夫）

工事現場での九官鳥君

高三 本田 昇

招集されて記念となるべき行事を盛り込むことに意見が固まり、昭和五十年十一月十日、東京ガーデンパレス（旧私学共済会館）にて、大沢和夫先生（中二二回卒）に講演をお願いすることに決定した。当日は雨模様で心配されたが、飯田より三浦宏校長（中四〇回卒）長坂好忠同窓会副会長（中四一回卒）が参

加され、中谷太郎先生、秋山平吾先生、大熊正人先生もお見えになつて、盛大に開催された。二二〇人余の会員が集り、ます大沢先生の講演「伊那

がの多くの教えた教え子に

大熊先生も、しわとしらがの多くの教えた教え子に

眞も夫々に撮影したこと

で良い記念が残ったと思

う。中谷先生、秋山先生、

がの多くの教えた教え子に

中 25 回

クラス会

昭和五十九年度は上諏訪と高遠を見学することになった。参加者十五名六月七日午後二時二十二分、上諏訪駅前へ集合。天候に恵まれ皆元気旺盛成田屋ホテルに小憩後、北側の展望台に登りしばらく湖畔風景を眺めてから北沢美術館に向う。フランスの硝子美術品展示会が開かれていた。

水蓮形ランプ
ひとよ貫ランプ
アネモネ文台付花瓶
フランスの薔薇文花瓶
(以上エミール・ガレ)

蜻蛉に蛙文花瓶
(以上ドーム作)
色彩が豊富で繊細で立派なものであった。

午後六時宿に帰り湯に入り骨を伸ばし七時半、待望の宴となる。

老人に見えていても一杯やると大いに元気が出る。未だ五、六年は大丈夫である。

大調曲、歌が出てメートルは予想以上に上り、来年は二泊にせよ、俺はクラス会が一番だ!他の会は続いた。

翌朝少し憂氣味だったが心配はない。上社を参拝して杖突峰に向う予定。

朝の境内は静かで心引き締まるおもいがする。

神官、木村頌一氏同行なので心強い事限りなし。

詳細に説明して下さるの

で有難さ百倍。杖突に向う。茅野市・諏訪市・八ヶ岳連峰の眺望は素晴らしい。茶店で三十分。伊藤平氏の地盤変動に就い

てのお話に耳を傾けたりして有意義な時を過ごした。それから藤沢、長峰の谷間の部落を車窓に見、殊に昨年の大水に荒れた地盤を見ながら下った。

御堂坂外は松島の道と一緒に、絶島がどんな想いで通ったか、唐丸龍で描られて行った話が出る。片倉では藤の花が咲いていた。絶島の墓、進徳館公園、伊沢修二の家や、桂泉院の鐘等見て寺でお茶を頂いてから絶島ホテルで最終の宴を催し解散した。(後藤壽記)

地質学者もさることながら、この赤石山系の深い峻険な仙境に在って感ずることは、前後約四十年

間の長きにわたり、賊軍討伐に明け暮れながらも、

この地を本拠と定められ、南朝復興のために心

を碎き、あるいは和歌に託して庶民の思いを歌われわれは、これ以上

奥は人家なしという並沢

十三人、欠席の理由の多くは健康に恵まれないこ

とである。幹事の話したと当初は二十三名の申込

みであったが、だんだん

欠落して半数近くまで落

ち込んでしまった由、わ

互いに古稀の坂を越えた

地元飯田からは、幹事の太田茂穂、熊谷利作はか近松久司、関口卓治、渡辺勤の五人、松本から鈴木峯雄、長野から小池子、東京からは竹内邦四郎、伊原種男、清水靖夫、片桐三郎、湯川尚雄、田中正明の十三人が飯田線大島駅で落合、それよりマイクロバスで一路大河原へ。

古風のツメ跡も生まれましく、小浜ダムは木橋で埋まり、ところどころに崩れが見られる。熊

谷は大河原に勤めた経験もあって、大鹿村一帯の地図や歴史に明るいばかりでなく、地質学の造詣も深い。「中央構造線を中心とする下伊那の地質

案内」というパンフレットまで作って四十万冊、秋父帶、三波川帶、領家帶等の地質を指さしながら説明する。

地質学者もさることながら、この赤石山系の深い峻険な仙境に在って感ずることは、前後約四十年

間の長きにわたり、賊軍討伐に明け暮れながらも、

この地を本拠と定められ、南朝復興のために心

を碎き、あるいは和歌に託して庶民の思いを歌われわれは、これ以上

奥は人家なしという並沢

十三人、欠席の理由の多くは健康に恵まれないこ

とである。幹事の話したと当初は二十三名の申込

みであったが、だんだん

欠落して半数近くまで落

ち込んでしまった由、わ

互いに古稀の坂を越えた

地元飯田からは、幹事の太田茂穂、熊谷利作はか近松久司、関口卓治、渡辺勤の五人、松本から鈴木峯雄、長野から小池子、東京からは竹内邦四郎、伊原種男、清水靖夫、片桐三郎、湯川尚雄、田中正明の十三人が飯田線大島駅で落合、それよりマイクロバスで一路大河原へ。

古風のツメ跡も生まれましく、小浜ダムは木橋で埋まり、ところどころに崩れが見られる。熊

り吉野朝悲願が昨日から頭に焼きついているのであるか。伝道去る能はぬものがあった。

地図や歴史に明るいばかりでなく、地質学の造詣も深い。「中央構造線を中心とする下伊那の地質案内」というパンフレットまで作って四十万冊、秋父帶、三波川帶、領家帶等の地質を指さしながら説明する。

地質学者もさることながら、この赤石山系の深い峻険な仙境に在って感ずることは、前後約四十年

間の長きにわたり、賊軍討伐に明け暮れながらも、

この地を本拠と定められ、南朝復興のために心

を碎き、あるいは和歌に託して庶民の思いを歌われわれは、これ以上

奥は人家なしという並沢

十三人、欠席の理由の多くは健康に恵まれないこ

とである。幹事の話したと当初は二十三名の申込

みであったが、だんだん

欠落して半数近くまで落

ち込んでしまった由、わ

互いに古稀の坂を越えた

地元飯田からは、幹事の太田茂穂、熊谷利作はか近松久司、関口卓治、渡辺勤の五人、松本から鈴木峯雄、長野から小池子、東京からは竹内邦四郎、伊原種男、清水靖夫、片桐三郎、湯川尚雄、田中正明の十三人が飯田線大島駅で落合、それよりマイクロバスで一路大河原へ。

古風のツメ跡も生まれましく、小浜ダムは木橋で埋まり、ところどころに崩れが見られる。熊

り吉野朝悲願が昨日から頭に焼きついているのであるか。伝道去る能はぬものがあった。

地図や歴史に明るいばかりでなく、地質学の造詣も深い。「中央構造線を中心とする下伊那の地質案内」というパンフレットまで作って四十万冊、秋父帶、三波川帶、領家帶等の地質を指さしながら説明する。

地質学者もさることながら、この赤石山系の深い峻険な仙境に在って感ずることは、前後約四十年

間の長きにわたり、賊軍討伐に明け暮れながらも、

この地を本拠と定められ、南朝復興のために心

を碎き、あるいは和歌に託して庶民の思いを歌われわれは、これ以上

奥は人家なしという並沢

十三人、欠席の理由の多くは健康に恵まれないこ

とである。幹事の話したと当初は二十三名の申込

みであったが、だんだん

欠落して半数近くまで落

ち込んでしまった由、わ

互いに古稀の坂を越えた

地元飯田からは、幹事の太田茂穂、熊谷利作はか近松久司、関口卓治、渡辺勤の五人、松本から鈴木峯雄、長野から小池子、東京からは竹内邦四郎、伊原種男、清水靖夫、片桐三郎、湯川尚雄、田中正明の十三人が飯田線大島駅で落合、それよりマイクロバスで一路大河原へ。

古風のツメ跡も生まれましく、小浜ダムは木橋で埋まり、ところどころに崩れが見られる。熊

り吉野朝悲願が昨日から頭に焼きついているのであるか。伝道去る能はぬものがあった。

地図や歴史に明るいばかりでなく、地質学の造詣も深い。「中央構造線を中心とする下伊那の地質案内」というパンフレットまで作って四十万冊、秋父帶、三波川帶、領家帶等の地質を指さながら説明する。

地質学者もさることながら、この赤石山系の深い峻険な仙境に在って感ずることは、前後約四十年

間の長きにわたり、賊軍討伐に明け暮れながらも、

この地を本拠と定められ、南朝復興のために心

を碎き、あるいは和歌に託して庶民の思いを歌われわれは、これ以上

奥は人家なしという並沢

十三人、欠席の理由の多くは健康に恵まれないこ

とである。幹事の話したと当初は二十三名の申込

みであったが、だんだん

欠落して半数近くまで落

ち込んでしまった由、わ

互いに古稀の坂を越えた

地元飯田からは、幹事の太田茂穂、熊谷利作はか近松久司、関口卓治、渡辺勤の五人、松本から鈴木峯雄、長野から小池子、東京からは竹内邦四郎、伊原種男、清水靖夫、片桐三郎、湯川尚雄、田中正明の十三人が飯田線大島駅で落合、それよりマイクロバスで一路大河原へ。

古風のツメ跡も生まれましく、小浜ダムは木橋で埋まり、ところどころに崩れが見られる。熊

り吉野朝悲願が昨日から頭に焼きついているのであるか。伝道去る能はぬものがあった。

地図や歴史に明るいばかりでなく、地質学の造詣も深い。「中央構造線を中心とする下伊那の地質案内」というパンフレットまで作って四十万冊、秋父帶、三波川帶、領家帶等の地質を指さながら説明する。

地質学者もさることながら、この赤石山系の深い峻険な仙境に在って感ずることは、前後約四十年

間の長きにわたり、賊軍討伐に明け暮れながらも、

この地を本拠と定められ、南朝復興のために心

を碎き、あるいは和歌に託して庶民の思いを歌われわれは、これ以上

奥は人家なしという並沢

十三人、欠席の理由の多くは健康に恵まれないこ

とである。幹事の話したと当初は二十三名の申込

みであったが、だんだん

欠落して半数近くまで落

ち込んでしまった由、わ

互いに古稀の坂を越えた

地元飯田からは、幹事の太田茂穂、熊谷利作はか近松久司、関口卓治、渡辺勤の五人、松本から鈴木峯雄、長野から小池子、東京からは竹内邦四郎、伊原種男、清水靖夫、片桐三郎、湯川尚雄、田中正明の十三人が飯田線大島駅で落合、それよりマイクロバスで一路大河原へ。

古風のツメ跡も生まれましく、小浜ダムは木橋で埋まり、ところどころに崩れが見られる。熊

り吉野朝悲願が昨日から頭に焼きついているのであるか。伝道去る能はぬものがあった。

地図や歴史に明るいばかりでなく、地質学の造詣も深い。「中央構造線を中心とする下伊那の地質案内」というパンフレットまで作って四十万冊、秋父帶、三波川帶、領家帶等の地質を指さながら説明する。

地質学者もさることながら、この赤石山系の深い峻険な仙境に在って感ずることは、前後約四十年

間の長きにわたり、賊軍討伐に明け暮れながらも、

この地を本拠と定められ、南朝復興のために心

を碎き、あるいは和歌に託して庶民の思いを歌われわれは、これ以上

奥は人家なしという並沢

十三人、欠席の理由の多くは健康に恵まれないこ

とである。幹事の話したと当初は二十三名の申込

みであったが、だんだん

欠落して半数近くまで落

ち込んでしまった由、わ

互いに古稀の坂を越えた

地元飯田からは、幹事の太田茂穂、熊谷利作はか近松久司、関口卓治、渡辺勤の五人、松本から鈴木峯雄、長野から小池子、東京からは竹内邦四郎、伊原種男、清水靖夫、片桐三郎、湯川尚雄、田中正明の十三人が飯田線大島駅で落合、それよりマイクロバスで一路大河原へ。

古風のツメ跡も生まれましく、小浜ダムは木橋で埋まり、ところどころに崩れが見られる。熊

り吉野朝悲願が昨日から頭に焼きついているのであるか。伝道去る能はぬものがあった。

地図や歴史に明るいばかりでなく、地質学の造詣も深い。「中央構造線を中心とする下伊那の地質案内」というパンフレットまで作って四十万冊、秋父帶、三波川帶、領家帶等の地質を指さながら説明する。

地質学者もさることながら、この赤石山系の深い峻険な仙境に在って感ずることは、前後約四十年

間の長きにわたり、賊軍討伐に明け暮れながらも、

この地を本拠と定められ、南朝復興のために心

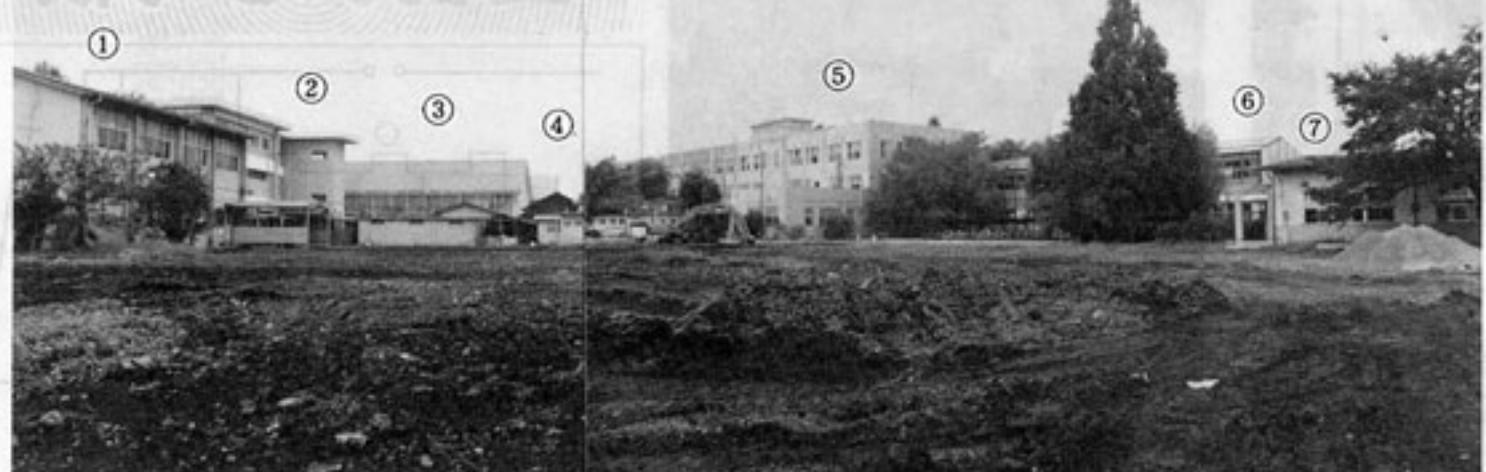
を碎き、あるいは和歌に託して庶民の思いを歌われわれは、これ以上

</

学園だより

第一校舎着工、大体育館竣工

今、学園は建設の極音らしい中にある。第二校舎着工、そのための敷地の確保と整地、大体育館の竣工、各所の補修……。長きにわたる念願がここに一気に実現する運びとなつた。県当局・松下逸雄同窓会長・同窓会・PTA・地元のみなさん……各位の並々ならぬ熱情と尽力の賜である。十余年にわたって構想を練り、設計図を作つては直し……して來た当校教職員の姿も忘れられない。以下に工事の内容・模様を報告します。



手前の更地に第二校舎が建つ

- ① 合宿棟
- ④ 西体育館
- ⑦ 図書館
- ② 同窓会館
- ⑤ 本館
- ③ 講堂
- ⑥ 假設プレハブ

今、学園は建設の極音らしい中にある。第二校舎(特別教室を主とする混合棟)を建設する。生物地学美術の混合棟・物理化学棟を破して、ここに第二校舎(特別教室を主とする混合棟)を建設する。十一月着工、竣工は六十年三月。四月よりは使用の通りである。補修は終了した。本館尚袖部である。

大型バッカホの赤茶色のアームが、柱部を避けた土台近くの壁面を慎重になぞる。そして力を込めて横板を剥ぎ、内部を透かしていく。時にバラバラと瓦が散る。そんな作業の果て、柱と屋根だけになった。裸の東体(元柔道場)を見ると、梁

と柱といい、実に確かな材で、壊すのが惜しかったという。

次いで、機械力の一押しが、その堅牢な造りに見守る者一同、建設時の気がして、切ないものが

キシミながら東体消ゆ

八月末、猛暑の中、この東体育館と前述の理科教員住宅(元柔道場)・隣接の講堂が相次いで倒壊された。

八月末、猛暑の中、この東体育館と前述の理科教員住宅(元柔道場)・隣接の講堂が相次いで倒壊された。

後者は(長らく呼称東体育館)一時、体操場柔道場・女子整容室・音楽室等に仕られ、多目的利用されることもある。

一方、前者は、昨今は卓球練習場として使われ、昨今は卓球練習場として使われた以外、外観は往時そのままである。中者は昭和四十年ほど同地に敷地天体操場・柔道場である。主建築物は、本館・雨蓋密には若干のズレあり)の屋上雨漏り補修は全面のコンクリート打直しによって八月終了。西体育館の床張り替えは約二千万円を費して九月完了。

第二校舎建設のための仮校舎二棟もテニスコートに設けられた。

そこで今度は大体育館の完成と第二校舎建設敷地確保のための壊しと整地である。

あれこれの工事が時期的に重なる部分もあって多い時には二十社を越える会社の人々が出入りし、トラックの出入口を一ヶ所増設しなければならなかつた。

明治十五年創立、十三年独立、大正十四年十二月現高松台校舎新設そして移転入校。爾来六十年なんなんとするが、

第二校舎

四階建、延九十五坪

(二スパンが普通教室の

現在、本館と講堂との間には幾多の小規模建物

が密集の形で存在するが、これらは逐次取り壊してある。名代の半倉の如く頑丈なトイレも、任務を全うして、間もなくその姿を消す。

そして校地内は、本館第二校舎・大体育館・西体育館・同窓会館・講堂

合宿棟の七棟となり、すっきりと整理された感じで、空間が増す。現在の図書館(昭三五建設)は第二校舎東端部が喰い込む形となって壊さざるを得ない、とのことで、残念ではある。

合宿棟の七棟となり、すっきりと整理された感じで、空間が増す。現在の図書館(昭三五建設)は第二校舎東端部が喰い込む形となって壊さざるを得ない、とのことで、残念ではある。

八月一日から開催され、結果は、本館休みにかけたところである。

月曜から夏休みにかけて、小半日の作業を経て、六十一年の歴史は土壌の中に再生を期して消えていった。

また、脇の老木、巨木の公孫樹も移植不可能の故に切り倒された……。

高校生の海外留学が盛んで、当校でも長期短期生の予測もあります。

二、三年八名、五年生徒三九七名。近い将来五分になるだろうとの予測もあります。

○高校生の海外留学が盛んで、当校でも長期短期生の予測もあります。

活躍！各種全国大会

— バト初出場 —

あつたとのことである。

かくて、小半日の作業を経て、六十一年の歴史は土壌の中に再生を期して消えていた。

また、脇の老木、巨木の公孫樹も移植不可能の故に切り倒された……。

高校生の海外留学が盛んで、当校でも長期短期生の予測もあります。

二、三年八名、五年生徒三九七名。近い将来五分になるだろうとの予測もあります。

○高校生の海外留学が盛んで、当校でも長期短期生の予測もあります。

二、三年八名、五年生徒三九七名。近い将来五分になるだろうとの予測もあります。

二、三年八名、五年生徒三九七名。近い将来五分になるだろうとの予測もあります。

二、三年八名、五年生徒三九七名。近い将来五分になるだろうとの予測もあります。



大体育館

飯高昨今

○何といっても女性徒が増します。期間はAFSの一年が筆頭ですが、どの格別のものです。○当校への留学生も常時一人は居る恰好になります。現在は米国籍の女生徒カーストンさん。長身活発で、弓道班で弓を教えて貰っています。授業は本校生と机を並べて頑張っています。



林美鈴

・富士原

1対2

・横前竹内組

0対2

矢野監督談

・後藤芳久

(三)五種競

技、藤沢秀水(二)三千

山村光司氏(高3)理論
社長は、本年度同窓会
總会の場において講演を行なった。その折に同社

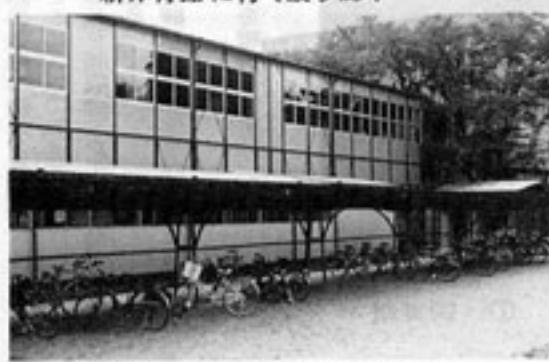
愛蔵版六〇巻ほか三六〇
寄贈された本は、名作
数。図書館では、理論社
コーナーを設けて愛蔵す
る予定である。



新体育館に行く渡り廊下



新体育館の近代的な内部

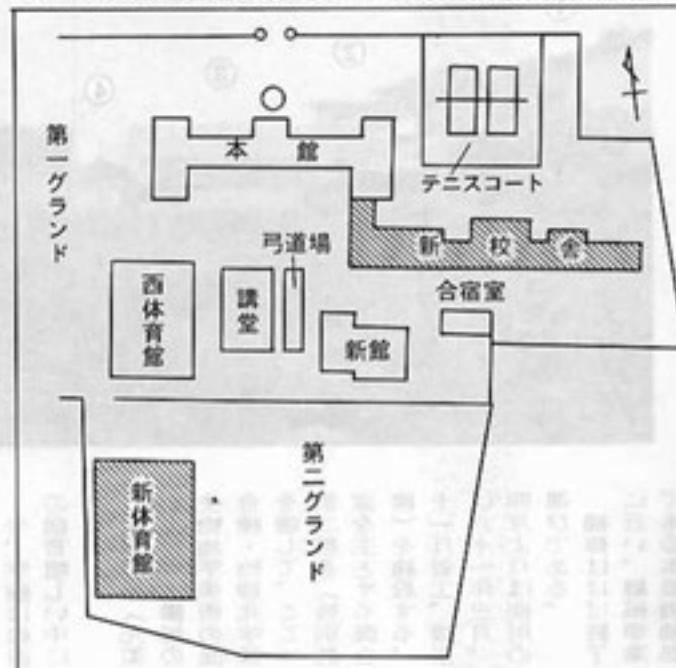


テニスコートにできたプレハブ校舎



講堂東側の新弓道場

変貌する母校



卒業生進路情報

昭和58年度卒業生総数350名(内女子105名)。進学者184名、現役133名、就職33名であった。昭和57年度より新教育課程となり、教育課程の最後の学年であった。現役が不振であった。来年度入試における現役の奮起が望まれている。

()内は卒業生

北海道大	1	京都教育大	1	東京経済大	3(2)	
山形大	3(2)	滋賀大	1(1)	東京電機大	6(1)	
弘前大	3(3)	国立大計	94.50	東京薬科大	5(1)	
東北大	4(4)	高崎経済大	2(1)	東京理科大	21.00	
筑波大	4(1)	東京都立大	1(1)	日本大	23.04	
図書館情報大	1	横浜市大	2(1)	日本医大	1(1)	
宇都宮大	1(1)	立	静岡女子大	1	文教大	3(2)
群馬大	1(1)	静岡薬大	1(1)	法政大	15.00	
埼玉大	1	その他	12(7)	武藏大	5(3)	
千葉大	5(3)	公立大計	19.01	武藏工大	6(5)	
東京学芸大	5(1)	青山学院大	5(4)	明治大	23.08	
東京水産大	1	麻布獣医大	1	明治学院大	6(6)	
東京外語大	1(1)	立	立教大	11(8)		
お茶の水女子大	2	私	共立女子大	3	早稲田大	26.09
電通大	2(2)	慶應大	4(1)	神奈川大	10(9)	
東京商船大	1(1)	工学院大	2(2)	南山大	1(1)	
横浜国立大	5(4)	国学院大	4(3)	名城大	7(4)	
上越教育大	2(2)	駒沢大	7(4)	京都女子大	3(3)	
金沢大	3(2)	芝浦工大	8(6)	同志社大	8(5)	
福井医大	1(1)	順天堂大	1(1)	立命館大	11(3)	
富山医薬大	1(1)	上智大	6(2)	その他	66.07	
山梨大	5(3)	成蹊大	2(1)	私立大計	347.219	
山梨医大	2(2)	専修大	14.00	国公立短大	15(4)	
静岡大	3(2)	大東文化大	3(2)	私立短大	45(2)	
名古屋大	4(2)	中央大	17.00	各種学校	25(1)	
名工大	2(1)	津田塾大	2	県内	24	
信州大	27(9)	東京医大	1(1)	県外	9	
奈良女子大	1	東洋大	2(2)	計	33	

事務局だより

△十高会(高10回一代表
北原康平)は高校卒25周年
記念式典の折、エレク

トーン一台を学校に寄贈
した。



〔一〕維持会費について
(1)本年も又維持会費を
納入していただく時期が
やってきました。納入明
細書を確認の上、忘れない
うちに、納入して下さ
れるよう、お願い致しま
す。

〔二〕毎回ご連絡致してい
ます。

〔一〕無替用紙について
(1)払込みの氏名欄、又
入している会員にのみ、
同窓会報、を無償にて
配布致しています。

〔二〕会員名簿について
(1)会員名簿の発行は、
明昭和六十一年十月の予定
にて、一年後になってま
いました。名簿作製の
手順は、前回同様で、あ
りますので、会員一人一
人の御協力を、切にお願
い致します。

〔二〕同窓会報にて、毎回
維持会費を、五十五年か
ら五十九年迄の五ヶ年分
完納した会員に、無償に
配布することになつて
います。

〔三〕前回の名簿発行後に
六十年から六四年迄
卒業した、高校三二回生
(五六年三月卒)より、
高校三七回生(六〇年三
月卒業予定)までの方で、
在学中に、一括500円
円納入された会員と、夫
々の卒回生で、卒業後
おいて夫々の卒業の年よ
り、五ヶ年納入された会

〔四〕中12回木下祐治
中13回原守国
中14回樋口恭雄
中15回新井虎次郎
中16回正木敬二
中17回後沢信吾
中18回木村八弥
中19回深津一郎
中20回正木敬二
中21回木下祐治
中22回木下祐治
中23回原守国
中24回樋口恭雄
中25回新井虎次郎
中26回正木敬二
中27回木下祐治
中28回木下祐治
中29回原守国
中30回樋口恭雄
中31回木下祐治
中32回木下祐治
中33回多田竜介
中34回新井和文
中35回熊谷実
中36回白鳥英人
中37回太田原
中38回高橋亮雄
中39回林好正
中40回太田原
中41回木下祐治
中42回松島甫
中43回大平淳司
中44回大平淳司
中45回大平淳司
中46回大平淳司
中47回大平淳司
中48回大平淳司
中49回大平淳司
中50回大平淳司
中51回大平淳司
中52回大平淳司
中53回大平淳司
中54回大平淳司
中55回大平淳司
中56回大平淳司
中57回大平淳司
中58回大平淳司
中59回大平淳司
中60回大平淳司
中61回大平淳司
中62回大平淳司
中63回大平淳司
中64回大平淳司
中65回大平淳司
中66回大平淳司
中67回大平淳司
中68回大平淳司
中69回大平淳司
中70回大平淳司
中71回大平淳司
中72回大平淳司
中73回大平淳司
中74回大平淳司
中75回大平淳司
中76回大平淳司
中77回大平淳司
中78回大平淳司
中79回大平淳司
中80回大平淳司
中81回大平淳司
中82回大平淳司
中83回大平淳司
中84回大平淳司
中85回大平淳司
中86回大平淳司
中87回大平淳司
中88回大平淳司
中89回大平淳司
中90回大平淳司
中91回大平淳司
中92回大平淳司
中93回大平淳司
中94回大平淳司
中95回大平淳司
中96回大平淳司
中97回大平淳司
中98回大平淳司
中99回大平淳司
中100回大平淳司
中101回大平淳司
中102回大平淳司
中103回大平淳司
中104回大平淳司
中105回大平淳司
中106回大平淳司
中107回大平淳司
中108回大平淳司
中109回大平淳司
中110回大平淳司
中111回大平淳司
中112回大平淳司
中113回大平淳司
中114回大平淳司
中115回大平淳司
中116回大平淳司
中117回大平淳司
中118回大平淳司
中119回大平淳司
中120回大平淳司
中121回大平淳司
中122回大平淳司
中123回大平淳司
中124回大平淳司
中125回大平淳司
中126回大平淳司
中127回大平淳司
中128回大平淳司
中129回大平淳司
中130回大平淳司
中131回大平淳司
中132回大平淳司
中133回大平淳司
中134回大平淳司
中135回大平淳司
中136回大平淳司
中137回大平淳司
中138回大平淳司
中139回大平淳司
中140回大平淳司
中141回大平淳司
中142回大平淳司
中143回大平淳司
中144回大平淳司
中145回大平淳司
中146回大平淳司
中147回大平淳司
中148回大平淳司
中149回大平淳司
中150回大平淳司
中151回大平淳司
中152回大平淳司
中153回大平淳司
中154回大平淳司
中155回大平淳司
中156回大平淳司
中157回大平淳司
中158回大平淳司
中159回大平淳司
中160回大平淳司
中161回大平淳司
中162回大平淳司
中163回大平淳司
中164回大平淳司
中165回大平淳司
中166回大平淳司
中167回大平淳司
中168回大平淳司
中169回大平淳司
中170回大平淳司
中171回大平淳司
中172回大平淳司
中173回大平淳司
中174回大平淳司
中175回大平淳司
中176回大平淳司
中177回大平淳司
中178回大平淳司
中179回大平淳司
中180回大平淳司
中181回大平淳司
中182回大平淳司
中183回大平淳司
中184回大平淳司
中185回大平淳司
中186回大平淳司
中187回大平淳司
中188回大平淳司
中189回大平淳司
中190回大平淳司
中191回大平淳司
中192回大平淳司
中193回大平淳司
中194回大平淳司
中195回大平淳司
中196回大平淳司
中197回大平淳司
中198回大平淳司
中199回大平淳司
中200回大平淳司
中201回大平淳司
中202回大平淳司
中203回大平淳司
中204回大平淳司
中205回大平淳司
中206回大平淳司
中207回大平淳司
中208回大平淳司
中209回大平淳司
中210回大平淳司
中211回大平淳司
中212回大平淳司
中213回大平淳司
中214回大平淳司
中215回大平淳司
中216回大平淳司
中217回大平淳司
中218回大平淳司
中219回大平淳司
中220回大平淳司
中221回大平淳司
中222回大平淳司
中223回大平淳司
中224回大平淳司
中225回大平淳司
中226回大平淳司
中227回大平淳司
中228回大平淳司
中229回大平淳司
中230回大平淳司
中231回大平淳司
中232回大平淳司
中233回大平淳司
中234回大平淳司
中235回大平淳司
中236回大平淳司
中237回大平淳司
中238回大平淳司
中239回大平淳司
中240回大平淳司
中241回大平淳司
中242回大平淳司
中243回大平淳司
中244回大平淳司
中245回大平淳司
中246回大平淳司
中247回大平淳司
中248回大平淳司
中249回大平淳司
中250回大平淳司
中251回大平淳司
中252回大平淳司
中253回大平淳司
中254回大平淳司
中255回大平淳司
中256回大平淳司
中257回大平淳司
中258回大平淳司
中259回大平淳司
中260回大平淳司
中261回大平淳司
中262回大平淳司
中263回大平淳司
中264回大平淳司
中265回大平淳司
中266回大平淳司
中267回大平淳司
中268回大平淳司
中269回大平淳司
中270回大平淳司
中271回大平淳司
中272回大平淳司
中273回大平淳司
中274回大平淳司
中275回大平淳司
中276回大平淳司
中277回大平淳司
中278回大平淳司
中279回大平淳司
中280回大平淳司
中281回大平淳司
中282回大平淳司
中283回大平淳司
中284回大平淳司
中285回大平淳司
中286回大平淳司
中287回大平淳司
中288回大平淳司
中289回大平淳司
中290回大平淳司
中291回大平淳司
中292回大平淳司
中293回大平淳司
中294回大平淳司
中295回大平淳司
中296回大平淳司
中297回大平淳司
中298回大平淳司
中299回大平淳司
中300回大平淳司
中301回大平淳司
中302回大平淳司
中303回大平淳司
中304回大平淳司
中305回大平淳司
中306回大平淳司
中307回大平淳司
中308回大平淳司
中309回大平淳司
中310回大平淳司
中311回大平淳司
中312回大平淳司
中313回大平淳司
中314回大平淳司
中315回大平淳司
中316回大平淳司
中317回大平淳司
中318回大平淳司
中319回大平淳司
中320回大平淳司
中321回大平淳司
中322回大平淳司
中323回大平淳司
中324回大平淳司
中325回大平淳司
中326回大平淳司
中327回大平淳司
中328回大平淳司
中329回大平淳司
中330回大平淳司
中331回大平淳司
中332回大平淳司
中333回大平淳司
中334回大平淳司
中335回大平淳司
中336回大平淳司
中337回大平淳司
中338回大平淳司
中339回大平淳司
中340回大平淳司
中341回大平淳司
中342回大平淳司
中343回大平淳司
中344回大平淳司
中345回大平淳司
中346回大平淳司
中347回大平淳司
中348回大平淳司
中349回大平淳司
中350回大平淳司
中351回大平淳司
中352回大平淳司
中353回大平淳司
中354回大平淳司
中355回大平淳司
中356回大平淳司
中357回大平淳司
中358回大平淳司
中359回大平淳司
中360回大平淳司
中361回大平淳司
中362回大平淳司
中363回大平淳司
中364回大平淳司
中365回大平淳司
中366回大平淳司
中367回大平淳司
中368回大平淳司
中369回大平淳司
中370回大平淳司
中371回大平淳司
中372回大平淳司
中373回大平淳司
中374回大平淳司
中375回大平淳司
中376回大平淳司
中377回大平淳司
中378回大平淳司
中379回大平淳司
中380回大平淳司
中381回大平淳司
中382回大平淳司
中383回大平淳司
中384回大平淳司
中385回大平淳司
中386回大平淳司
中387回大平淳司
中388回大平淳司
中389回大平淳司
中390回大平淳司
中391回大平淳司
中392回大平淳司
中393回大平淳司
中394回大平淳司
中395回大平淳司
中396回大平淳司
中397回大平淳司
中398回大平淳司
中399回大平淳司
中400回大平淳司
中401回大平淳司
中402回大平淳司<br